



編集委員のお願いを快く聞いていただき、駒をならべていただきました。将棋盤に向い、駒を手にした途端、優しい表情が一変。勝負を前にしたような真剣な眼差しにかわっていました。

プロになつたのは？  
19歳で三段になりました。  
1回目のプロテストの時は周りの方の結果次第でプロになれたのですが駄目でした。三回目のプロテストでは12勝6敗と、もう少しのところでした。4回目のプロテストで13勝5敗とし、プロになりました。

**対局に際して準備する」とはありますか？**

過去のプロ棋士と今のプロ棋士ではどちらが強いと思いますか？

**好きな言葉は？**

紙面の都合で紹介できないことがあります。プロとしてスタートされた高野棋士。これから、ますますのご活躍を心からお祈り致します。

21歳の現役学生でプロになりました。親に言われたことはないで、やらせてくれたことがあります。自由に、好きなことを進路を決めるに当たり両親に言われたことはないで、やがたかつたです。プロになつたのは早い方ではないです。

プロテストに合格した時に自宅へ電話したところ、父からは「おめでとう」と言われたように記憶しています。大学を卒業後は、プロとして活動しています。

**木村師匠はどのような方ですか？**

将棋には攻め将棋と受け将棋とあります。私は、「守つて、守つて、戦うタイプ」で受け将棋と言われています。師匠も受け将棋ですが、どちらかというと攻め将棋の方が多いです。

紙面の都合で紹介できないことがあります。プロとしてスタートされた高野棋士。これから、ますますのご活躍を心からお祈り致します。

19歳で三段になりました。1回目のプロテストの時は周りの方の結果次第でプロになれたのですが駄目でした。三回目のプロテストでは12勝6敗と、もう少しのところでした。4回目のプロテストで13勝5敗とし、プロになりました。

プロテストに合格した時に自宅へ電話したところ、父からは「おめでとう」と言われたように記憶しています。大学を卒業後は、プロとして活動しています。

**日本将棋連盟には過去の試合のデータがあるので、対戦前に相手を研究します。**

木村師匠はどのように対局時は正座ですかと伺うと、あぐらでも大丈夫とのことで、着物は特別だそうです。また、服装も普段はスーツで、着物は特別だそうです。

将棋の魅力とこれから目標や夢は？

将棋以外で興味のあることや好きな芸能人はいますか？また気分転換ですか？

将棋には珍しいことで、とても恵まれています。

将棋の魅力とこれから目標や夢は？

将棋はおもしろいです。父からは「夢を持って努力すれば無駄にはならない」と励まされました。

将棋の魅力とこれから目標や夢は？

将棋はおもしろいです。父からは「夢を持って努力すれば無駄にはならない」と励まされました。

# 南畠から棋士誕生！

## 高野四段 おめでとうございます！！



高野 智史四段



**将棋を始めたきっかけは？**  
5歳のころ、父に教えていただきました。

**どのような少年時代を過ごしましたか？**  
南畠幼稚園に通いましたが、幼稚園の頃から将棋で遊んでいました。サッカーなども好きで、毎日のようになります。南畠公民館でも遊んでいました。

「第57回3段リーグ戦」で好成績を収めた、上南畠在住の高野智史さん(中央大学法学部4年、22歳)が平成27年10月1日付けで、見事四段(プロ棋士)に昇段しました。高野さんは小学校6年生の時に、「小学生王将戦埼玉県大会(A級高学年)」で優勝し、広報ふじみ平成17年8月号で紹介されていますが、その際に、「将棋の夢はプロ棋士」とこたえられていきました。まさに夢をつかまれた高野さん。今回は、高野プロに将棋との出会いなど将棋にまつわるお話を中心に伺いました。

(担当)／野本巳智子、大澤敦子、表紀子、松下佳子、市川永樹、高野雄一)

中学校は東中で卓球部に所属していましたが、土日は将棋を優先していました。高校は都内で遠かつたため、主催していた子ども将棋教室が鶴瀬公民館で土曜日に開催されており、そこに通りました。同世代の子たちとも対戦しましたが、連盟の宮川さん、末永さんにちとも対戦しましたが、連戦しました。月例会で勝つも習い、後半の頃は大人と対戦しました。月例会で勝つても賞品がお酒だつたりしました。そこで困りました。

小学校5年生の頃に、さいたま市などで開かれていた子ども将棋教室に通いました。そこで一番お世話になった方であり、最初の師匠である小島先生が新たに将棋教室を開くことになり、通うようになりました。その教室の師範として年1回くらい、指導に来ていた木村が、現在の師匠である木村一基八段です。

**将棋について教えてください**  
奨励会は6級から三段まで構成されており、奨励会に入会した者同士で対局をしてください。指導に来ていた木村が、現在の師匠である木村一基八段です。

中学校は東中で卓球部に所属していましたが、土日は将棋を優先していました。高校は都内で遠かつたため、主催していた子ども将棋教室が鶴瀬公民館で土曜日に開催されており、そこに通りました。同世代の子たちとも対戦しましたが、連戦しました。月例会で勝つも習い、後半の頃は大人と対戦しました。月例会で勝つても賞品がお酒だつたりしました。そこで困りました。

中学校は東中で卓球部に所属していましたが、土日は将棋を優先していました。高校は都内で遠かつたため、主催していた子ども将棋教室が鶴瀬公民館で土曜日に開催されており、そこに通りました。同世代の子たちとも対戦しましたが、連戦しました。月例会で勝つも習い、後半の頃は大人と対戦しました。月例会で勝つても賞品がお酒だつたりしました。そこで困りました。

中学校は東中で卓球部に所属していましたが、土日は将棋を優先していました。高校は都内で遠かつたため、主催していた子ども将棋教室が鶴瀬公民館で土曜日に開催されており、そこに通りました。同世代の子たちとも対戦しましたが、連戦しました。月例会で勝つも習い、後半の頃は大人と対戦しました。月例会で勝つても賞品がお酒だつたりしました。そこで困りました。